

複写式出荷用伝票から普通紙へ 作業性アップと大幅コストダウン実現

ダイワ物流サービス・ダイワ中央物流センター



多種多様なレジャー商品の 物流現場

ダイワ物流サービス(株)は、グローブライド(株) (旧社名・ダイワ精工(株))の物流子会社として1984年に設立(図表-1)。釣り、ゴルフ、テニスなど、グローブライドが扱うレジャー関連商品の物流を一手に担っている。

同社の中央物流センターは東京都羽村市に位置、約17,000アイテムの多品種商品を保管、岡山・滋賀の拠点と連動させ日本全国への物流を展開する。扱う商品は2m以上もある釣り竿から、指先ほどの釣りの仕掛けに至るまで実に多種多様だ。

同社は他社の物流業務を受託する3PL事業も設立当初から狙いとしている

が、現在の外販比率は約2割。これは親会社のグローブライドがM&Aで事業規模を拡大し、物量が上がっているためなのだが、今後は3PL業務受託を積極展開する計画。

その体制整備としては多様化した高頻度のオーダーに対応するため、グローブライド用と他社荷主用の2種のWMSを基盤に、単品仕分けソータやバーコードスキャン検品などのシステムを導入。次頁⑥のソータは椿本チエイン製「リニソート」第1号機となる。

そんな同社のもうひとつの売りは、メール便事業だ。

「弊社のサービスは少量で流通加工を伴うニッチなニーズに焦点を絞っていま



高橋修常務

小寺正寿課長

す」と語るのは高橋修常務取締役。メール便発送だけでなく、梱包などの付帯業務を伴う流通加工が強みとなり、東京都などの官公庁をはじめ、多くのユーザーからの信頼は厚い。

企画段階から参画する商談も多く、紙質やDM形態などを提案している。そこ

図表-1 ダイワ物流サービス(株)の会社概要

本社所在地	東京都羽村市五ノ神365番地
設 立	平成13年8月1日
代 表 者	渡部憲二 代表取締役
授權資本金	5億6000万円
払込資本金	1億4000万円
主 要 株 主	伊吹興産(株)
年 商	20億円 (平成23年7月期)
従 業 員 数	31名 (平成23年7月現在)



① メール作業場のオルフィス X7250 (X7200と基本性能は同じで用紙トレイがあるモデル) ② オルフィスでプリントしたDMハガキ





図表-2 オルフィス X 7250・7200の導入効果(ダイワ物流サービス運用の場合)

出力スピード(A4)	120枚/分=7,200枚/時
出力単価	〈モノクロ〉 0.24円
	〈カラー〉 0.42円

図表-3 オルフィス X 7250・7200の特長

1	A4で最高120枚/分のプリントスピード*1
2	1枚あたりカラー2.05円, モノクロ0.68円の低コスト*2
3	最大600万枚の高耐久性
4	速乾性独自インクで裏汚れ・波打ちなし, 水濡れにも流れない
5	位置ズレがほとんどない印刷精度

*1) A4片面横送り, 標準設定連続プリント, フェイスダウン排紙トレイ使用時。

*2) A4片面, フルカラー:CMYK各色5%/モノクロ:K5%, 標準設定連続プリント, RISO X インクF使用時。用紙代別。

③ 事務所に設置したオルフィス X 7200 ④ 小寺課長は実機を見たその日, 高い機能に惚れこんだ ⑤ 従来の複写式伝票は4枚綴り⑥, オルフィスにより印字時間とコストを大幅削減 ⑦ 活躍するリニソート1号機 ⑧ LED水銀灯も導入, オルフィスと併せ地球環境保護に貢献

で活躍するのが理想科学工業㈱が製造する高速インクジェットプリンタORPHIS(オルフィス)「X7200」と「X7250」だ。高速でありながら低コストを実現することで定評がある。

オルフィスで独自のサービスを!

オルフィスは理想科学工業の代理店である小林クリエイト㈱から11年秋に紹介された。1分あたり120枚印字の高速性, モノクロの印字単価0.68円の経済性という特長に, 「本当なのか, そんなに早く綺麗に印刷できるのか, 半信半疑で聞いていました」と業務開発グループの小寺正寿課長は語る。

そんな小寺課長も, 実機デモを見てその速さに目を見張った。「コスト的, 時間的にも優れているオルフィスを使うことで, メール便事業で当社独自のサービスを打ち出せる」と直感したという。

そこで同社ではメール便事業用に「X7250」を1台, 11年12月に導入。これを武器に荷主にコスト削減とスピード化を提案, 現在は月平均約10万枚を印刷している(図表-2, 3)。

その典型的な例は雑誌や冊子等を発送する際の宛名ラベルだ。通常はビニール袋に雑誌を封入し, 袋のオモテ面に宛

名ラベルを貼付する形が多かったが, 同社の新提案はシールを廃止し, 明細書を兼ねた宛名印字した紙を1枚同梱するのみ。作業性が大幅に向上したばかりか, コストが下がったと荷主からも大変喜ばれているという。

複写式出荷用伝票を普通紙に転換

また同社は同じ時期, オルフィス「X7200」を1台, 物流現場の事務所に導入した。従来の複写式出荷用伝票から普通紙への変更にチャレンジしたのだ。

グローバルのホストコンピュータの変更に伴う物流業務の見直しの一環として提案したものだが, それを実現したのがオルフィスだった。

「複写式伝票は4枚綴りで, 人件費, プリンタのランニングコストや保守など, 大きな費用がかかっており, 5年前から改善を提案していました」と小寺課長。

複写式はグローバルが連日深夜に伝票を発行し, それをダイワ物流サービスに納品していたが, 今では夜間自動作成されたデータをオルフィスで印刷することで, 深夜にオペレータが3時間程度かけて行っていた作業が朝の30分で終了となる。

高橋常務は「現場が作業をしやすい形で印刷できる点が大きなメリット」と指摘する。例えばA4サイズで印刷した場合, その後の伝票仕分け作業が不要になる。これまでは伝票の複写部分をはいで切り刻み, カルタ取り形式で店舗別に仕分ける必要があったが, オルフィスならそのお店に合った内容でプリントできるため付帯作業精度が大幅に向上した。

同社ではシステム本稼働後に月6万枚以上の印刷を想定している。まだグローバルが構築中のホストコンピュータが正式稼働していないため, 定量的な導入効果は今後算定されるが, 同社では事業拡大に合わせ, オルフィスの追加導入も視野に入れているという。

「我々の強いフィールドで, 新しいお客様にアピールしていきたいですね」と高橋常務は展望していた。

資料請求・問い合わせ先

【製造元】

RISO

理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル
[TEL] 03-5441-6683
[HP] <https://www.riso.co.jp/>

【販売元】

KOBAYASHI

小林クリエイト株式会社

〒104-0041 東京都中央区新富1-18-1
住友不動産京橋ビル
[TEL] 03-3552-6157 [HP] <https://k-cr.jp/>